



2026 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヴ ィ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 金 谷 智 浩
(コード番号：5071 東証スタンダード)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 コーポレート Div. 長 矢 原 裕 一 郎
(TEL.06-6457-6788)

パドルデザインカンパニー株式会社の株式取得（子会社化） に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会の決議に基づき、パドルデザインカンパニー株式会社（以下「パドルデザインカンパニー」という）の全株式を 2026 年 11 月上旬（予定）に取得し、子会社化することを目的とする株式譲渡契約書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件株式取得は、開示基準を下回る任意開示であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

記

1. 株式の取得の理由（背景および目的）

当社グループは、「はたらく人々を幸せに。」というパーパス（存在意義）のもと、働く環境や働き方を総合的にデザインする「ワークデザイン」を事業の核に据えております。現在、当社グループでは連結売上高250億円、連結営業利益25億円以上を財務目標とする中長期ビジョンを掲げ、さらなる事業拡大と企業価値の向上に邁進しております。

昨今、人的資本経営への関心の高まりや働き方の多様化に伴い、オフィス環境に求められる役割は劇的に変化しております。オフィスは単なる「業務遂行の場（作業場）」から、企業のアイデンティティを体現し、従業員のエンゲージメントを醸成する「戦略的拠点」へと昇華しています。このような環境変化の中、当社グループが提供する「ワークデザイン」を深化させるためには、物理的な「空間（ハード）」の構築に加え、企業の根幹である「理念や文化（ソフト）」の形成を上流工程から一貫して支援する体制の構築が不可欠であると考えております。

このたび子会社化するパドルデザインカンパニーは、企業のブランド価値を言語化・視覚化するブランディングおよびクリエイティブ・コンサルティング分野において、極めて高い専門性と実績を有しております。

本件株式取得により、パドルデザインカンパニーが有する戦略立案・クリエイティブ能力を当社グループ内に取り込むことで、以下のシナジー創出を図ります。

（１）一貫通貫の提供価値の向上と競争優位性の確立

企業のパーパス策定等の川上工程（ソフト）から、その想いを反映した空間構築（ハード）までを一貫通貫で提供できる唯一無二の体制を構築し、顧客への提供価値を向上させ、競争優位性を確立します。

（２）顧客接点の拡大とLTV（顧客生涯価値）の向上

従来、当社グループにおける顧客との接点は、主にオフィス移転や改装の検討フェーズから開始される傾向にありました。本件により、パドルデザインカンパニーが強みとする「川上工程（ブランディング戦略立案）」からの参画が可能となります。

これにより、オフィス移転というイベントの発生前から顧客の経営課題に深く関与する「接点の早期化」を実現します。さらに、空間構築後の「コンテンツ制作・運用（Webや広報支援等）」といった実行フェーズまで支援領域を広げる「接点の多層化」を図ります。

年間約400件を手掛ける当社グループの強固な顧客基盤に対し、これらの多角的なサービスをクロスセルで提供することで、顧客とのタッチポイントを飛躍的に増加させ、長期的なパートナーシップの構築を通じたLTV（顧客生涯価値）の最大化を追求してまいります。

（３）人的資本の拡充によるクリエイティブ体制の強化

パドルデザインカンパニーの優秀なクリエイター陣が参画し、人材の交流が生まれることで、当社グループ全体のデザイン力を底上げし、より高付加価値なサービスの提供を実現いたします。

これら一連の統合効果を通じて、当社グループの成長速度を加速させ、株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値の一層の向上を図れるものと判断し、本件株式取得を決定いたしました。

２．株式を取得する会社の概要

名 称	パドルデザインカンパニー株式会社		
所 在 地	東京都港区南青山2-18-2 竹中ツインビルA-3F		
代表者の役職・氏名	代表取締役 豊田 善治		
事 業 内 容	ブランディング（MI/VI/CI開発）、 Web制作、映像制作、グラフィック、 コピーライティング、プロモーション、運用保守		
資 本 金	3,000万円		
設 立 年 月 日	2000年 1 月		
大株主及び持株比率	豊田 善治（代表）：100%		
上場会社と当該会社 との 関 係 等	資 本 取 引	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。	

（注）当該会社の最近３年間の経営成績及び財政状態につきましては、守秘義務により非開示とさせていただきますが、いずれも適時開示基準に該当しない軽微基準範囲内であります。

3. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	0 株（議決権所有割合：0%）	
取得株式数	600 株	
異動後の所有株式数	600 株（議決権所有割合：100%）	
取得価額（※）	パドルデザインカンパニー株式会社の普通株式	175百万円
	アドバイザー費用等（概算）	48百万円
	合計（概算額）	223百万円

（注）取得価額につきましては、当社と利害関係のない第三者による適切なデューデリジェンスを実施し、パドルデザインカンパニーの過去の業績、現在の財政状態、今後の事業計画等を踏まえ、相手先との協議のうえ、決定しております。

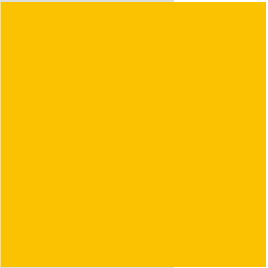
4. 日程

株式譲渡契約締結日	2026 年 9 月 14 日
株式譲渡実行日	2026 年 11 月 2 日（予定）

5. 今後の見通し

本件による 2027 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上



パドルデザインカンパニー株式会社の株式取得（子会社化） に関するお知らせ 補足説明資料

株式会社ヴィス

東京証券取引所

スタンダード市場

証券コード5071

2026.9.14

- 01** 背景と目的
- 02** 対象会社の概要
- 03** シナジーの創出
- 04** 本件のストラクチャー
- 05** 中長期ビジョンと期待するシナジー

「空間（ハード）」と「ブランディング（ソフト）」の融合による次世代『ワークデザイン』の確立を目指す。

背景

働く環境の変化

働きがいへの関心
働き方の多様化

オフィス＝「作業場」



「アイデンティティを体現し
エンゲージメントを高める場」
へと役割が変化



目的

パーパス「はたらく人々を幸せに。」の実現

「ワークデザイン」の確立



オフィス構築
「ハード」

×

企業のMWや文化づくり
「ソフト」

「空間（ハード）」の提供に留まらず
企業の根幹である「理念や文化（ソフト）」
づくりの強化が必要

はたらく人々を幸せに。

違いを言語化し、魅力をデザインする

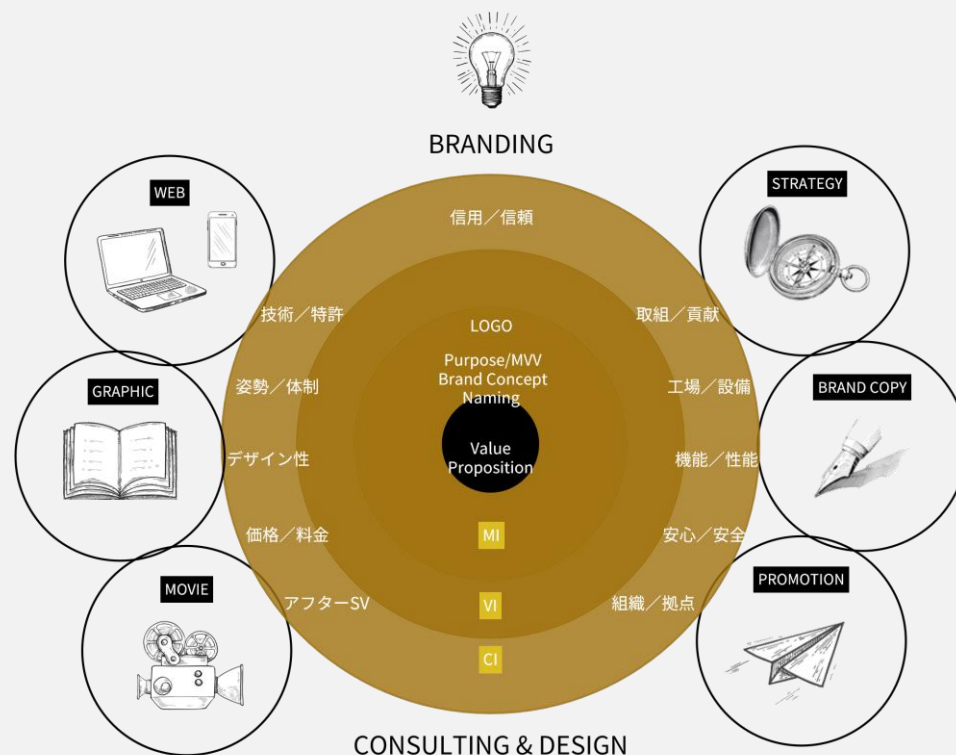
vis

×

paddle design company

パドルデザインカンパニー株式会社

創業	2001年1月
代表取締役	豊田 善治
資本金	3,000万円
青山本社	東京都港区南青山
従業員数	16名
MISSION	違いを言語化し、魅力をデザインする。
VISION	企業に、競争力を。社会に、活気を。



対象会社の概要（事業内容・強み）

当社にとって新たな領域

ブランド戦略 (MI)

企業理念・価値(MVV)の言語化、
ブランドコンセプト設計、ネーミング

VI/CI設計

ロゴ、ブランドガイドラインの開発と統一運用

映像・動画制作

ブランドムービー、プロモーション映像、
音響表現(ototoe)

当社にとって強化される領域

Web ブランディング

Web制作を軸にしたVI実装、グローバル発信対応、
LPなどプロモーションの企画制作

グラフィック 印刷物制作

会社案内、パンフレット、カタログ、
広告物の企画制作

空間・ 体験デザイン

アート事業(THE ART)

対象会社の強み

豊富な実績
取引実績3,000件超

ワンストップ体制
戦略立案～運用

信頼関係
直取引90%
リピート率70%

企画力・洞察力
潜在的な魅力を
デザイン化

対象会社 事例紹介_01 鎌ヶ谷巧業株式会社 (MI/VI開発)

Outer Branding

Logo



Tagline

まっすぐ、強く。巧であれ。

Message

技術は、人が育てていくもの。
経験は、次の世代へつないでいくもの。
鎌ヶ谷巧業はこれからも、人材育成と技術の継承に力を注ぎ、
新しい技術の開発やテクノロジーの活用に挑戦しながら、
安心・安全な建築を支え続けていきます。
まっすぐ、強く。巧であれ。
この想いを、仕事の隅々にまでいき渡らせながら。

Brand Guideline



Credo Book



Inner Branding

Mission

技と心を磨き、
人と社会の夢を支える。

巧の技術、経験、精神、心遣い。
それらすべてを、人や社会の夢のために。

Vision

鉄に命を。
人に夢を。

我々は巧の集合体として、鉄に命を与え、
人に夢を与える「価値創造企業」を目指します。

Values

進歩

巧とは、革新を恐れず、
進化を続ける存在である。

品質

巧とは、いかなる状況においても、
卓越した品質を追い求める。

先見

巧とは、時代の動向を読み、
一歩先を行く発想を生み出す。

継承

巧とは、人である。
巧として、巧を育て、巧の幸福を追
求せよ。

参照：<https://www.kamagayakogyo.co.jp/company/philosophy>

対象会社 事例紹介_01 鎌ヶ谷巧業株式会社 (ブランディング)



コーポレートサイト <https://www.kamagayakogyo.co.jp/>



採用サイト <https://www.kamagayakogyo.co.jp/recruit/>



周年サイト <https://www.kamagayakogyo.co.jp/60thanniversary/>



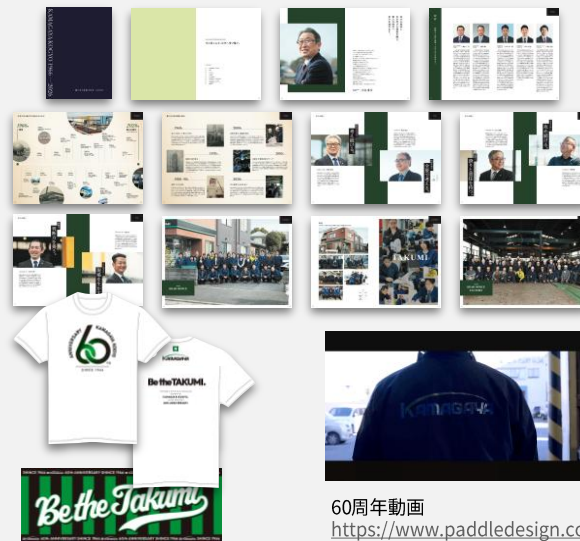
会社案内



ブランドブック

クリアファイル/ポケットホルダー

60周年事業



60周年動画

https://www.paddledesign.co.jp/works-movie/_97/



ブランドMOVIE～未来編～

https://www.paddledesign.co.jp/works-movie/_99/



ブランドMOVIE～父はヒーロー編～

https://www.paddledesign.co.jp/works-movie/_41/

パドルデザインカンパニーの参画により、『ワークデザイン』の提供領域は、空間・体験からブランド・戦略まで拡張

ワークデザインの提供領域を拡張

ブランディング コンサル支援

企業の存在意義や価値を明確にし、浸透させるための戦略立案。ブランド基盤を構築

エクスペリエンスデザイン

定義されたブランド価値を体験設計により組織内部へ浸透。
無形資産である「企業文化」を醸成

ワークプレイスデザイン (空間)

ブランドを体現し文化を醸成する空間および環境の実装。
企業のアイデンティティをハードとして具現化

一気通貫の
ブランディング体制を提供

期待される効果

案件創出の早期化

顧客接点の
量・質の向上

サービス領域の拡大

顧客LTVの最大化

単なる規模拡大ではなく、「ワークデザイン」を完成させる戦略的投資。シナジーを早期に顕在化させ、中長期的な成長加速を実現。

概要

取得手法	対象会社株式の全てを取得 (完全子会社化)
------	--------------------------

取得価額	1億7,500万円（予定）
------	---------------

決裁手段	全額自己資金
------	--------

想定 EV/EBITDA倍率	約6.5倍（※）
-------------------	----------

※本件クロージング時に対象会社の不動産・非事業用資産を分割いたします。よって、分割後の試算（2026年2月時点）に基づく参考値となります。

実行スケジュール

契約締結日	2026年9月14日
-------	------------

株式譲渡実行日	2026年11月2日（予定）
---------	----------------

中期経営計画の達成に向けた「足固め」として位置づけ、 パーパス「はたらく人々を幸せに。」の実現を目指す。

基盤構築

2023～2025年度

売上高 **164.89** 億円

営業利益 **19.42** 億円

- 既存事業を土台に「ワークデザイン」推進に向け、事業領域拡大のため基盤を構築
- 成長に向けた人材への投資

機会拡大

2026～2028年度

「ワークデザイン」
の提供による
既存事業の付加価値向上と
新規事業の拡大により
「選ばれる企業」へ。

成果獲得

2029～2031年度

売上高 **250** 億円

営業利益 **25** 億円以上

「ワークデザイン」の浸透による
高収益化・持続可能な成長。

期待する
シナジー

サービス領域の拡大
顧客接点の増加



案件創出の優位性

受注率の向上
リピート率の向上
ストック収益の確保

利益率の向上
顧客LTV向上
競争優位性の確立